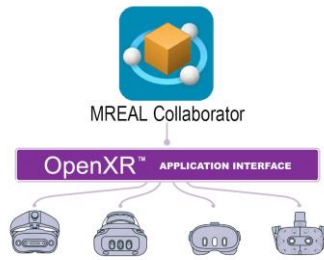


**製造業向け XR ソフトウェア“MREAL Collaborator”を提供開始  
直感的操作で 3DCG を共有しチーム内の連携を支援**

キヤノンは、「OpenXR™」※1に対応したデバイスを用いて 3DCG を共有できる XR コラボレーションソフトウェア“MREAL Collaborator”の提供※2を 2026 年 7 月上旬に開始します。



複数のデバイスを用いて 3DCG を共有可能



「OpenXR™」デバイス対応のイメージ



PC でソフトウェアを起動した際のビューイメージ

XR 市場の拡大に伴い、製造業においても XR 活用への期待が高まっています。しかし、デバイス・ソフトウェア操作の煩雑さやデータ準備の手間など、運用負担が大きいことから、業務への本格的な導入は進んでいないのが現状です。また導入後も、作業者の習熟度の違いにより、作業時間や映像の質に差が生じ、稼働率の低下や熟練者への依存などが課題となっています。“MREAL Collaborator”は、手軽に 3DCG を実寸大で立体視できる XR コラボレーションソフトウェアです。シンプルな UI により、3DCG の専門的な知識を持たないユーザーでも直感的な操作が可能です。さらに「OpenXR™」に準拠した異なる XR デバイス※3を用いた遠隔地間の 3DCG 共有もできるため、デバイスや場所にとらわれない円滑なコミュニケーションを促進し、チーム内の連携強化を支援します。

**■ UI の刷新により直感的な操作が可能**

現実映像に 3DCG を表示する既存ソフトウェア「MREAL Visualizer」※4から機能を絞り込み、UI を刷新しています。ソフトウェア内の表示をシンプルにすることで、3DCG 設計者に限らず、製造現場の作業員や営業担当者など、専門知識を持たないユーザーでも直感的に操作できます。

**■ 複数の XR デバイスに対応しチーム内での連携を支援**

XR 業界のデバイス・ソフトウェア間の仕様における標準規格「OpenXR™」に準拠しています。キヤノンの MR (Mixed Reality : 複合現実) システム「MREAL」に加え、「OpenXR™」対応の他社製デバイスも使用できるため、既存デバイスを活用しながら XR 環境を構築できます。これにより、異なるデバイス間でも遠隔地の参加者とオンラインで接続し、3DCG をリアルタイムに共有しながら議論・検討することが可能です。例えば、製造業の開発初期段階から、3DCG を用いた設計の検討やレビュー、部門間でのイメージ共有を容易にします。このように円滑なコミュニケーションを促進することで、チーム内の相互理解促進や連携強化に貢献します。

※1 米国・Khronos グループが策定した、XR デバイス・ソフトウェア間の仕様を標準化する規格です。規格に準拠することで、さまざまなアプリケーションが多くの XR デバイスで使用できるだけでなく、共通のインターフェースでアプリケーションを開発できます。

※2 提供開始当初は無償となりますが、今後の仕様や提供条件は変更となる場合があります。CAD ファイル形式を使用する場合は、提供開始当初より有償オプションの購入が必要になります (NX/CATIA V5 に対応)。

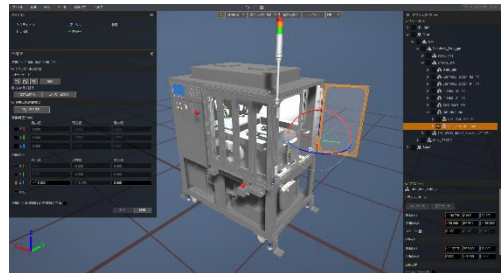
※3 詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

※4 初版は 2014 年 10 月発売。

## 〈主な特長〉

### 1) UI の刷新により直感的な操作が可能

- 現実映像に 3DCG を表示する既存ソフトウェア「MREAL Visualizer」から機能を絞り込み、UI を刷新したことで直感的な操作を実現。
- ソフトウェア内の構成をシンプルにすることで、3DCG 設計者に限らず、XR や 3DCG の専門知識を持たない製造現場の作業員や営業担当者を含む幅広いユーザーが手軽に操作可能。
- ユーザーが既に保有している 3D データでも、データを構成する部品や要素を階層的に整理したツリー構造を維持したまま取り込むことが可能。



UI を刷新したことで直感的な操作が可能

### 2) 複数の XR デバイスに対応しチーム内での連携を支援

- XR 業界のデバイス・ソフトウェア間の仕様における標準規格「OpenXR™」に準拠。
- キヤノンの「MREAL」に加え、「OpenXR™」に対応している他社製の XR デバイスも使用できるため、ユーザーが既に導入しているデバイスを活用し、XR 環境を構築可能。
- 遠隔地の参加者とオンラインで接続し、3DCG をリアルタイムに共有可能。製造業の開発初期段階における 3DCG を用いた設計の検討やレビュー、他部門とのイメージ共有を支援。
- 円滑なコミュニケーションを促進し、チーム内の相互理解促進や連携強化に貢献。

## 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノン IT ソリューションズ株式会社の公式ウェブサイトをご参照ください。7 月上旬からダウンロード可能です。

<https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/manufacturing/xr/mr/collaborator>

## 〈ご参考〉

キヤノンの MR システム「MREAL」についての詳細は以下をご参照ください。

・「MREAL」ホームページ

URL : <https://www.canon-its.co.jp/files/user/solution/mr/lp/>

・導入事例

URL : <https://www.canon-its.co.jp/solution/mr/case/>

\* OpenXR および OpenXR ロゴは、Khronos Group Inc.の商標または登録商標です。